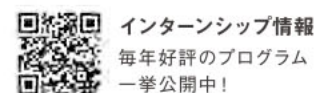
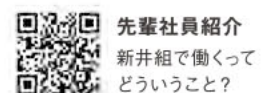
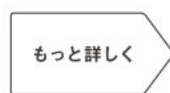


**ARAI  
GUMI**

<http://www.araigumi.co.jp/>



# One TEAM

## 心をひとつに——。

新井組をつくり上げているもの。

それは、社員一人ひとりの力。

社員それぞれが持つ高い能力や情熱を

最大限に発揮することが、

新井組の確かな実績につながっている。

そして、年齢や経歴を超えて結ばれる強い絆が

揺るぎのない強固な組織力を生み出している。

新井組はこれからも、心をひとつに、

社会のニーズに全力で応えていく。



一人ひとりの個性を、一つの力に。

その「組織力」が、  
新井組の強みになる。



Personal Quality

個性を尊重し、個性を活かす。  
新井組の企業風土。

新井組の社員には個性がある。それぞれが高い技術と能力を持ち、  
それぞれが情熱を持って日々仕事と向き合っている。  
一人ひとりの個性を尊重し、一人ひとりが持つ可能性を引き出し、  
存分に発揮できる環境が、新井組には用意されている。



Organization's Power

部門、世代を超えた協力と協調。  
新井組の組織力。

先輩が後輩を見守りフォローする、あたたかい社風。全員で成長していこう、という向上心。  
部署間の連携もスムーズで、社員同士の絆も強い。  
一人の力では難しいことも、チームでなら乗り越えられる。  
その組織力の強さが、新井組の強さにつながっている。



One TEAM

光る個性が結集し組織力を発揮。  
全社一丸となって邁進する強固なチームへ。

個人の高い能力が結集した時に発揮される、強固なチーム力が新井組最大の強み。  
どうすれば、発注者の期待を超えられるか。どうすれば、社会のニーズに応えられるか。  
社員全員が高い向上心と熱意を胸に、全社一丸となって世の中のために持てる力を発揮していく。

Episode  
1



**野村 定信**  
Sadanobu Nomura  
東京支店 / 建築部 / 2013年入社

ゴールに向かっての一体感、  
個人尊重の社風が日々のやりがいに。

幼い頃から工事現場の大きな重機に興味があり、「いつかはゼロからものづくりに携わりたい」と憧れを抱いていました。入社当時は分からないことばかりでしたが、写真の撮り方など初歩的なことから、現場での仕事の進め方・考え方といった本質まで、先輩が丁寧に教えてくださいました。また、月に一度の勉強会では、現場であったことの再確認や、これから経験することの予習ができ、スキルアップにつながっています。

新井組に入社して感じたことは社員の真面目さです。社員全員が仕事に対して真剣に取り組んでおり、どうしたら発注者の期待を超える建物を提供できるか常日頃から考えています。その強い思いと一緒にものづくりに関わる協力業者の職人さんにも共有されており、ゴールに向かって一体となって取り組んでいます。職人さんから「真面目な人が多くて仕事がやりやすい」と言っただけのも、チーム一丸となって成し遂げようとする社風にあると考えます。また、若手に裁量を持たせてくれるのも、新井組の特長です。以前、小学校の現場でステージを組むために足場が必要だったとき、「現ステージを足場代わりにした方が、作業スピードの短縮が図れる」と所長に提案し

たところ、採用されたのが非常に嬉しくて、印象に残っています。個人の責任は大きいですが、その対価としてそれ以上のやりがい、おもしろさを感じられる会社だと再認識しました。

現在、入社して6年目を迎えますが、まだまだ知らないことが多く、半人前だと日々痛感しています。近い目標は一級建築士の資格を取得することです。建物は法規的・構造的な決まりごとのもとに成り立っているため、それを理解し施工計画に反映することが、一人前への近道だと考えます。取得した暁には工事全体をより深く理解し、協力業者の職人さんが円滑に作業できる現場をつくっていきたいです。



施工実績

発注者：S社  
用途：集合住宅  
竣工年：2018年  
所在地：東京都

Deal Voice  
上司からひとこと

野村君は後輩の面倒見がよく、若手社員から慕われている人材です。もちろん、真面目な人柄は先輩社員や協力業者の職人さんからも評判で、円滑な工事施工を図るうえで一役買ってくれています。近年は仕事のおもしろさがだんだん分かってきたようで、積極的に現場で陣頭指揮を執る姿が見受けられます。

Episode  
2

人との関わりにより  
自身も磨かれると実感した12年間。



**温品 孝之**  
Takayuki Nukushina  
本社 / 建築部 / 2007年入社

同業の父の影響で、幼い頃から建設業界に興味がありました。設計士も考えましたが、図面と向き合うよりも現場で建物そのものに関わりたという思いが湧き上がり、施工管理の仕事を選びました。設計図をもとに、発注者の要望に沿って建物が完成するまでの全工程をサポートするのが施工管理の仕事。工程表を作って、協力業者の職人さんたちと打ち合わせをしながら、資材の手配やスケジュールの調整を行います。入社前は、機械化が進んでいるイメージを持っていましたが、実際は鉄筋一つひとつを人の手で組んでいることを知り、「一つの建物を造るのにこれだけ多くの人が携わるんだ」と驚き、感動したのを今でも覚えています。

入社してから12年間。マンションから商業施設まで、様々な現場を経験してきました。新人の頃、工事写真の撮り忘れがあり、最終報告の際に迷惑をかけたことがありました。ミスに気づいたときは非常に落ち込みましたが、先輩方のフォローにより大事にならずに、無事竣工を迎えることができました。それ以来、同じ失敗は二度と繰り返さないと心に誓いました。また、他部署との絆が強いのも新井組の特長。特に新人の頃は、建物の

区画や材料などの法規的なことを設計技術部の方に確認し、現場にフィードバックしていました。何かあるたびに「一人の力じゃない、チームワークで成り立っている」と実感させられます。

これまでに最も記憶に残っている現場は、所長と二人で担当した保育園の現場です。分業制だったこれまでの現場と異なり、図面をもとにした資材発注、協力業者さんとのやり取り、現場の管理まで、業務全般を担当しました。責任が増した分、建物が完成したときの達成感は格別でした。建築業界は日進月歩で、常に新しい工法、技術が生まれます。的確な指示を出すために不可欠な知識、技術のブラッシュアップは中堅になった今でも欠かせません。



施工実績

発注者：国土交通省  
近畿地方整備局  
用途：官公庁庁舎  
竣工年：2012年  
所在地：大阪府

Deal Voice  
上司からひとこと

学生時代に生徒会長をやっていたこともあってか、どの現場でもリーダーシップを発揮しながら、責任を持って取り組んでくれています。現在、担当している工事は、規模が大きく多様な工種を担っていますが、視点を切り替えながら臨機応変に対応してくれています。業務と勉強の両立をこなし一級建築士の資格を取得するなど、後輩たちの良いお手本になっています。

Episode  
3

南 温仁  
Atsuto Minami  
本社/土木部/2012年入社



常に学び続ける、  
多彩な現場と出会いを経験に。

入社してから7年間、様々な現場を経験してきました。入社後すぐに赴任したのは埼玉県。高速道路のインターチェンジの橋脚を建設する工事でしたが、図面を見ても何も分からず、目の前の更地に橋脚が建つなんて想像もつきませんでした。この仕事を志したのは同業の父の影響です。就職活動は大学の教授の推薦もあり、新井組一本。「兵庫が一番の会社」と聞いていたので、迷いはありませんでした。実際に働いてみると建設業界は大変な面もありますが、土木は社会のインフラを造る仕事。人の役に立つものを作っているという自負があります。工事が進み、少しずつ形になっていく喜びを日々感じています。

新井組は官公庁から高い工事成績評定点を獲得しています。それは、先輩方が培ってきた高い技術力があるからこそ。新井組の苦しい時代を知っている社員は特に会社への思い入れが強く、熱意もあります。技術と熱意の両方を持ち合わせていることが、新井組の一番の強みだと思います。また、社内には「皆で頑張っていこう」というムードがあります。新入社員の頃、失敗を恐れ不安になっていた時「失敗してもカバーするよ」と先輩に言われたことで気持ちがとても楽になりました。新井

組は大手とは違い人数がそれほど多くない分、早い段階で仕事を任せてもらえます。現場経験を重ねることに成長できていると実感します。

今は地元の関西に戻り、道路を横断する地下道を築造する現場で施工管理全般を担当しています。私も数年後には所長として現場の指揮を執ることになります。その時は、発注者と協力業者の職人の方々の両方の気持ちを汲みながら「新井組と仕事をして良かった」と言われるような環境をつくっていききたい。そして、新井組を築いてきた先輩たちのように技術者として胸を張れるよう、精進していきたいと思っています。



施工実績  
発注者：国土交通省  
関東地方整備局  
用途：排水樋管  
竣工年：2012年  
所在地：栃木県

Deal Voice  
上司からひとこと

南君は優秀な実績を積み上げており、社内でも人気の人材です。工事の入札においては、金額面と合わせてこれまでの工事成績や担当者の実績によって落札者が決まります。現在、担当している工事は彼を配置技術者として入札し、見事落札することができました。中堅として上の立場も下の気持ちも理解でき、良いパイプ役になってくれています。今後の成長を期待しています。

Episode  
4

生活に近い場所での工事は、  
人対人の信頼から成り立っている。



東海林 和輝  
Kazuki Shoji  
東京支店/土木部/2007年入社

国土交通省の大型プロジェクトをはじめ、インフラ整備により地域に貢献できる充実した毎日を過ごしています。26歳のときに一級土木施工管理技士の資格を取得してからは、現場の技術的責任者である「監理技術者」に指名されるようになりました。裁量・責任が与えられるようになり、これまでの経験を活かして、任された仕事に結果を出せるというやりがいも大きかったです。

現在の宮城県現場は震災復興工事であり、東北出身の私にとってはいつも以上に思い入れが強く、人一倍の責任とやりがいを感じています。現場に立って改めて感じたことは、自分が従事する建設や土木の仕事が、被災地の復旧や復興にダイレクトに関わる仕事だということ。工事中の道路がこの地の生活道路になってくるので、早期完成は当然ですが、工事用車両が併用中の道路を通る際の配慮、「完成がはじまり」を意識した品質など、細部まで目を配らせてのトータルな施工管理が求められます。地域の方から「頑張ってください」「早い復興を期待しています」といった温かい声をいただき、ライフラインを回復させ、その地に暮らす人々の役に立つ今の仕事に、

誇りを持てるようになりました。

また、人々の暮らしに近い現場だからこそ、近隣の方との関係性づくりが大事になってきます。今回の現場も、ひまわりの種をまいて育てたり、地元の小学校の生徒たちとハロウィンパーティーを催したりと、積極的に近隣の方と関わり合うことで、より円滑に工事が進むように配慮しました。このように、地域とのコミュニケーションも、創業当時から受け継がれている新井組の取り組みのひとつです。土木工事は発注者と新井組の社員はもちろん、協力業者の職人さん、地域の方々など様々な人と人との関わりで成り立っているのだと今、改めて実感しています。



施工実績  
発注者：国土交通省  
東北地方整備局  
用途：地盤改良  
竣工年：2017年  
所在地：宮城県

Deal Voice  
上司からひとこと

一級土木施工管理技士の資格を入社後、最も早期に取得し、国土交通省をはじめとする大きな現場に携わり続けている東海林君。国土交通省発注の三件の工事で優良工事表彰を受賞しており、彼の実績が同僚たちのモチベーションアップにもつながっています。今後も現場の要として、数多くの実績を積み上げてほしいと期待しています。

やりがいは、仕事の魅力は、そして、新井組の強みとは。

各部署で活躍する4人が語る、「新井組で働く」ということ。



# One TEAM

ARAIGUMI round-table discussion

(左から)黒木 佑樹(建築系[設備]/2016年入社) 宮原 裕太(営業系/2018年入社) 能登 優(建築系[工事]/2021年入社) 喜多 翔馬(土木系[工事]/2014年入社)

## 個性を尊重し自由闊達な社風が、人を、チームを成長させていく。

現在の仕事内容と、その魅力を教えてください。

### 構造物や建物が出来た時の達成感が大きな魅力。



**喜多** 私は土木工事で、先月、埼玉県の橋の耐震補強工事が竣工したところ。現場では、現場代理人として施工管理や発注者(国交省など)との打合せ、協議書類の作成を行っています。これまでの現場で印象に残っているのは、東

日本大震災後の気仙沼での三陸道の現場と、陸前高田市で被災した国道を高台へ移設した現場です。土木の仕事が社会のインフラに直接関わっていることを実感しました。

何もない所に道路や構造物が出来たときは達成感があり、地図に残る仕事という点にもやりがいを感ずります。工事が終わって、地図アプリで担当した現場を眺めるのが密かな楽しみです。

**能登** 私は現在入社2年目で、小学校の校舎の建て替えの現場を担当しています。朝礼・昼礼の司会や日報作成、安全看板の掲示や不安全行為への注意等の安全管理、工事写真の撮影・整理などが主な業務です。私の叔父が建設関係の仕事をしていたため、幼い頃から建物の構造に興味があり、建設業界に進みました。普段過ごしている住居や公共施設の構造を知れることが大きな魅力です。

**黒木** 私は電気や給排水、空調などの設計と工事の施工管理が主な仕事です。魅力はやはり、何もなかった場所に、自分が計画や施工に関わった設備が出来上がっていくこと。その工程も面白いですし、完成した時や事業主様に引き渡す時などは大きな達成感を感じます。

**宮原** 建築・土木の官公庁発注工事の営業をしています。官庁工事は競争入札のため、公告前には情報収集、公告後は競合の分析、受注後は契約業務や関係部署への引継ぎ、フォローなどが主な業務となります。学生時代には想像して

いなかった金額が動き、それが成果として現れる。その分、一つのミスが数億の損失につながるので責任重大ですが、やりがいも感じます。

どんな場面で新井組のチームワークの良さを実感しますか。

### 困難は一丸となって乗り越えていく。



**宮原** 大前提として、営業は一人では工事を受注することができません。設計や設備、工事部、さらには本社だけでなく東京や名古屋支社とも連携し、協力しながら「これは絶対とっていく」と受注を目指します。そのため、受注できた

時はチーム全体で達成感と喜びを共有できる。これが、一番の魅力とやり甲斐です。

**黒木** 作業所で難しい事案が発生すると、現場は技術グループへ相談し、技術グループは必要に応じて作業所へ出向き、直接事業主や監理者へ説明を行います。新井組では内勤と作業所が一つの目標に向かい、一丸となって仕事を進めている。各部署の「よりよいものを造ろう」という共通の思いが強いのだと思います。

**喜多** 現場でも特にチームワークを意識し、気軽に話せる和気あいあいとした職場づくりを心がけています。最近では働き方改革の観点から、効率良く楽しく仕事ができるよう個々の負担が軽くなるよう取り組んでいます。

**能登** 私が担当する現場でも、発言しやすい雰囲気があります。他部署と接する機会は少ないですが、新人のフォローアップ研修や社内のスポーツクラブ・同好会で交流があり、いろいろな人と親しくさせてもらっています。ちなみに私はテニス部です。同期の存在も大きく、何かあった時は報告し合ったりします。同期には負けたくない、という気持ちもあり良い刺激になっています。

**黒木** 私はバスケットボールクラブに入っていますよ。月に一度、体育館を借りて汗を流します。新入社員から50代まで、さまざまな世代が集まり交流する機会は貴重ですね。

先輩や上司の後押しを感じたエピソードを教えてください。

### 「失敗は仕事をしている証拠」という上司の言葉。

**宮原** 入社後3年ほど契約前の業務を主として担当していましたが、次第に「契約後の業務もやりたい」という気持ちが湧いてきて、上司に相談しました。上司の後押しがあり、今では契約前から契約後まで一貫して担当することができています。部署内外問わず、困った時は先輩や上司に相談しやすい雰囲気があり感謝しています。

**喜多** 上司はいつも「やりたいようにやれ、責任は取るから」と言ってくれます。入社当初は指示された内容をこなすことで精一杯でしたが、経験を積みにつれて自分のやりたいようにのびのびと仕事をさせてもらっています。最近では後輩も増えてきて、後輩の指導も任せられたりしますので、私が後押しする側に回っています。定期的な上司と面談をし、悩み事や相談事を話すことが出来るのもアットホームな新井組ならではの良さだと思います。



**能登** 自分なりに行動した時、上司や先輩は温かく見守っているイメージがあります。積極的に行動した上での失敗に寛大で、「失敗は仕事をしている証拠だ」と言ってくれます。コンクリートの発注をミスして落ち込んでいた時も、「よくやった、いい経験したね」と言ってもらえて気が楽になりました。新人がチャレンジできる環境で、私はのびのびと仕事できています。

最後に、今後のビジョンについて聞かせてください。

### 若い世代がもっといきいきと働ける環境へ。

**能登** 私の目標は仕事と家庭の両立です。この仕事が好きなので家庭を持った後も長く働き続けたいと考えています。そのためには、自分の役割と業務の優先順位を明確にして、上手く時間を使えるようになりたいですね。女性が活躍する現場がこれから増えると嬉しいなと思います。

**喜多** 年々若手社員が増え、私も中堅という立場になりつつあるので、これまで積み上げてきた先輩方の技術や信頼を受け継ぎ、これからは若い世代で会社を盛り上げていきたいです。そして、いつかは自分も経営に携われるような人材になるという野望を持ちつつ、努力していきたいと思っています。

**黒木** 目標は、設備のスペシャリストとして社内外から相談



されるような存在になること。今は電気や空調のことなど専門業者の方々に聞いてばかりですが、逆に設備について相談されるようなスペシャリストになりたいですね。

**宮原** まずは、社内外で人脈の輪を広げて良好な信頼関係を構築していきたい。そして、「営業の宮原」から「新

井組の宮原」として認められ、「宮原になら任せられる」と思ってもらえる存在になりたいです。後輩も増えてきたので、これからは指導力や中長期的な目線で考えられる力も必要です。若い世代がいきいきと働ける環境をつくることも、私たちの責任だと思います。